

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年3月26日

事業所名: 児童発達支援 ブLOSSAMジュニア 富士見鶴瀬教室

対象人数(保護者)18人 回答者数 18人 回収 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			1		活動内容に応じて安全に配慮しながらスペースを確保しております。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	16			2		基準を満たした職員配置を行ない、子ども一人ひとりに合わせた支援を行なっております。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			2		生活空間は、活動に応じてスペースを分けるなど、子どもたちが分かりやすく安心して過ごせる環境づくりを行なっております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1				事業所内の生活空間につきましては、日々の清掃や衛生管理を行ない、清潔な環境づくりに努めております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	18					
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1		1		活動プログラムは、個別療育や集団療育などを取り入れながら、子どもたちの発達に合わせて実施しております。今後も様々な活動を通して経験を広げられるように工夫してまいります。
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3	1	5		現状は事業所内での活動が中心となっておりますが、今後は地域との関わりや交流の機会についても検討してまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	1				児童発達支援計画書については、作成時や面談の際に説明を行っております。
	⑭ 事業所から、家庭での接し方のヒントになるような情報の提供や、家族も参加できる行事などを通じたサポートは十分に行われていますか。	16	1	1			園への送迎のため送迎時にお会いする機会が少ない場合もありますが、ケア記録を通して情報共有を行ない、ご家庭での関わり方についてもお伝えできるように努めてまいります。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	2				ケア記録や公式ラインのツール、面談を通してお子様の様子をお伝えするように努めております。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	3	1	2		面談やケア記録、公式ライン等を通してお子様の様子や支援内容をお伝えするように努めております。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	⑱ こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1		こども家庭庁や関係機関からの相談や申し入れについては、適切に対応できる体制を整えております。
	⑲ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1				ケア記録や公式ラインなどを通して、保護者の皆様との情報共有や意思疎通を図るように努めております。保護者の皆様との意思の疎通を大切にまいります。
	⑳ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14			4		今後も活動の様子などをお知らせしていきます。活動の様子を、分かりやすく情報発信を行なってまいります。
	㉑ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			5		事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアルを整備し、安全に配慮した運営を行なっております。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2		8		非常災害に備え、避難訓練などを実施しております。取り組みについて保護者の皆様へ分かりやすくお伝えしてまいります。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	16			2		避難訓練の状況や非常時の対応について、連絡ツール（公式ライン）等を通して分かりやすくお知らせし、保護者様に安心してご利用いただけるよう周知に努めてまいります。
	㉖	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	15			3		事故発生時の対応方法や保護者様への連絡体制について、契約時の説明に加え、連絡ツール等を通して分かりやすくお伝えしてまいります。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	17			1		日々の活動の様子やお子様の変化について、連絡ツール等を通して今後も丁寧にお伝えし、保護者様にも安心していただけるように努めてまいります。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2				お子様一人ひとりの興味や発達に合わせた活動を引き続き取り入れてきます。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	17	1				お子様の支援のねらいや成長の様子について、連絡ツール等を通してより分かりやすいようにお伝えするとともに、今後は保護者様に参観形式を取り入れて実際の活動を見ていただける日をご案内させていただきます。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。